

平成22年度会務・会計報告



平成22年度幹事長報告

平成22年度日本弁理士クラブ
幹事長 岡部 譲

【はじめに】

平成22年度の日弁幹事長を拝命し、なんとか、つつがなく任期を終了する事ができました。これも、日弁各派から選出された有能な政策委員長、5名の副幹事長、10名の幹事をはじめとする日弁構成メンバー各位のおかげであり、深く感謝いたしております。

【執行部のサポート】

平成22年度は筒井大和会長の2年目の任期にあたり、総仕上げの年です。筒井会長の支持母体である日弁は全力でこれをサポートしなければなりません。3月には日本弁理士会の次年度時人事検討委員会に協力し、各派の人事担当委員会から各委員会や外部機関に多くの有為な人材を送りこむことができました。選出された委員はそれぞれの委員会で重要なポストについてご活躍いただき、筒井会長を強力にサポートしていただきました。近年は、無会派層が増え、弁理士会の活動に興味を持たない会員が増加している中で、弁理士会の活動内容はますます多岐に渡っており、選出すべき委員の数も年々増加する傾向にあります。日弁は、最大会派として多くの委員を選出して各委員会に送り込まなければならない責務がありますが、年々これが難しくなっています。特に、委員長クラスの経験豊富な人材は払拭しており、幾つもの委員会を同じ会員（しかも、かなりのベテランすなわち高齢者）が掛け持ちせざるを得ないような状況です。なんとかこの状況を打開し、若手の有能な人材を日本弁理士会に供給すべく、日弁各派は会員数の増加にも努力しています。

【会長選挙】

平成22年度は会長選挙の年に当たります。そのことは幹事長就任前からわかっていたことであり、大変な年に幹事長を務めることになるという覚悟はしていましたが、ふたを開けてみると4名の立候補者が乱立する激しい選挙となり、幹事長としては胃の痛い毎日の連続でした。

平成22年度の会長選挙は当初から波乱が予測されたため、日弁幹事会を早期に立ち上げ、対応を図りました。日弁構成各派に会長立候補予定者を募ったところ、2つの会派から立候補を予定している旨の声が上がりました。近年の弁理士数の急増や無会派層の増加から、最大会派である日弁からの候補者であるからといって簡単には当選できるものではないことは明らかです。早期に日弁としての統一候補を決定し、選挙に備えなければなりません。毎日のように幹事会、拡大幹事会等を開催し、候補者の一本化について議論を続けました。この過程で、立候補予定者を擁立した二会派が真摯かつ冷静に話し合いを続け、統一候補選定のプロセスをまとめてくださったことは大変ありがたいことでした。とかく閉鎖的で透明性がないといわれる会派活動に対する批判も考慮して、候補統一のプロセスはなるべくオープンな、透明性の高いものを心がけました。日弁としてもこのような手続は初めてのことで前例もなく、手探りの状態で進めましたので、いくつかの反省点もありますが、結果的には予定のプロセスを経て候補者の一本化にこぎつける事ができました。今回の経験は今後の日弁の運営に大いに参考になるものと思います。候補者一本化の過程においては、二回にわたる候補者自身による政策説明会や幹事会、拡大幹事会での議論等、多くの時間をかけて議論を煮詰めていきました。日弁の結束の維持を大前提とする事が確認され、各派の会員数の多寡等が影響しないよう、すべてをオープンな場での議論に基づいて進行するように努めました。最終段階では候補者を擁

立しない3会派の意見を集約し、その結果を幹事長が擁立会派に伝えました。このときは大変に苦しく、つらい役回りにわが身の不運を嘆きました。このような苦しい過程を経て、日弁としては異例に早い、6月の段階で春秋会推薦の奥山尚一氏を統一候補として機関決定する事ができました。

苦しい候補者選定プロセスではありましたが、この過程で感じたことは各会派の日弁に対する愛着と団結心の強さでした。場合によっては会派の分裂もあり得る危機的な状況であるにもかかわらず、どの会派もそのような可能性は全く念頭になく、オープンで真摯な議論に参加してくださいました。残念ながら統一候補に選ばれなかった会派もわだかまりを持つことなく、候補決定後は全力で統一候補を応援してくださいました。結果として、このプロセスは日弁の結束力を強める方向に作用したのではないかとすら思います。このことは幹事長として望外の喜びでした。

日弁統一候補は決定したものの、結局、選挙戦は4名の候補者が乱立する激しいものとなりました。このことは、減少を続ける出願数、急増する弁理士の数、手数料収入の減少等、弁理士を取り巻く環境の厳しさを反映し、危機感が強まっていることを反映しているのだと思います。選挙期間中は若手の応援団から次々に斬新なアイデアが飛び出し、ITなども駆使した新時代を思わせる選挙活動が行われました。

選挙戦の最終段階にいたって弁理士クラブからのご支持をいただけることとなり、勝利への期待が高まりました。

そして、開票結果が伝えられ、見事に奥山尚一先生の当選が決まりました。当選後、日弁幹事、各派幹事長等と互いに喜びの握手をしたときの感激は忘れたくないものです。奥山執行部を支えるべく、厳選した日弁選出の副会長候補も全員つつがなく当選を果たし、激しかった選挙も無事に終了しました。

【その他の活動】

会社勤務の弁理士の増加等、様々な理由はありますが、会派に所属する弁理士の数は増えておりません。会派活動に興味を持たない無関心層や反発をもつ方々もおられると思います。しかしながら、弁理士としての職責を全うし、責任を果たしていくためには優秀な執行部とこれをサポートする委員会等の活動は必須です。これらの活動を意義あるものとするために優秀な人材を育成し、会務に供給していく母体は会派以外には見当たりません。そのような有意の人材を日弁に取り込むべく、メルマガの発行をはじめ、種々の活動をしています。しかしながら、平成22年度は、日弁執行部は会長選挙への対応に忙殺されて十分な活動ができなかったことを反省しております。

また、日弁は会派間の親睦を図るため、旅行会、ゴルフ大会、テニス大会、ボーリング大会等を開催しています。幹事長はこれらのイベントに出席して挨拶をする等のお役目もあるのですが、昨年度のテニス大会は1月29日という、幹事長の任期終了の一日前に設定され、本当に最後のお役目として挨拶をさせていただいたのが印象に残りました。

【最後に】

前例の無い形での会長選挙が行われた年に日弁幹事長を勤めることとなり、激動の一年を過ごすこととなりましたが、どうにか任期を全うする事ができました。副幹事長、幹事、各派幹事長には頼りない幹事長を支えていただいたことに対して感謝の気持ちで一杯です。

末筆ながら改めて御礼申し上げます。

日弁会員各位におかれましては、本年度の樺沢聡幹事長に対して絶大なご支持を頂きますようお願い申し上げます。



平成22年度 政策委員会活動報告

政策委員長 榊 澤 聡

1. 委員会構成

委員長 榊澤 聡 (南甲)
 副委員長 井出 正威 (P A)
 同 西出 眞吾 (春秋)
 同 蔵田 昌俊 (南甲)
 同 齋藤 康 (無名)
 同 小西 恵 (稲門)
 委員 福田 伸一 (P A)
 同 出野 知 (春秋)
 同 鷲 健志 (春秋)
 同 伊丹 勝 (南甲)
 同 瀧野 文雄 (南甲)
 同 高松 俊雄 (無名)
 同 竹山 尚治 (無名)
 同 西村 公芳 (稲門)

政策プロジェクトチーム

リーダー 伊丹 勝 (南甲)
 メンバー 福田 伸一 (P A)
 同 村田 正樹 (P A)
 同 西出 眞吾 (春秋)
 同 出野 知 (春秋)
 同 瀧野 文雄 (南甲)
 同 齋藤 康 (無名)
 同 内田 雅一 (無名)
 同 西村 公芳 (稲門)
 同 中野 寛也 (稲門)

2. 諮問事項

- ①日本弁理士会執行部に対する政策面のサポート
 - ・日本弁理士会執行部からの検討事項に対する意見表明等
 - ・日本弁理士クラブとしての自主的な意見具申
- ②日本弁理士クラブ推薦の会長立候補予定者の政策の検討

3. 委員会開催実績

第1回委員会(拡大) 7月26日(月)
 第2回委員会(拡大) 8月23日(月)
 第3回委員会(拡大) 8月31日(火)
 政策プロジェクトチーム
 第1回P T 8月31日(火)
 第2回P T 9月13日(月)
 政策発表会(西日本弁理士クラブ)
 8月24日(火)
 ANAクラウンホテル
 政策発表会 8月31日(火)

4. 各会の審議

①委員会

第1回では、政策委員に加え各派幹事長の出席を戴き、奥山尚一次期会長候補が政策説明をした。

この発表された政策を基に日本弁理士クラブの承認した政策を作成することとした。政策説明及び資料を基に、各会派内で検討して意見を集約し、この意見を基に次回までに修正した政策を作成することとした。

また、政策委員会にプロジェクトチームを結成し、日本弁理士クラブとしての選挙用パンフレット等を作成することとした。

今後の役員選挙までの政策作成の活動スケジュールを作成し、確認した。

第2回では、政策委員に加え各派幹事長及び協議委員長の出席を戴き、奥山尚一次期会長候補の、政策発表用のパワーポイントとテキストパンフレットとの内容を確認した。

政策発表に向けて、修正すべき点を検討し、修正を加えた。

委員会の終了後に、納涼懇親会を開催した。

第3回では、政策委員に加え会員も自由に参加し、奥山尚一次期会長候補が政策説明をした。

政策説明後、質問、意見等を確認し、政策に修正を加えた。

日弁内のみならず、西日本弁理士クラブに対しても、政策説明会を実施し、奥山尚一次期会長候補の政策の説明をし、支持をお願いした。

②政策プロジェクトチーム

第1回では、選挙用パンフレット等の5種類の発送物を作成することにし、それぞれの発送物の内容について、春秋会幹事長より説明があり、今後の作成スケジュールについて確認した。

春秋会で各発送物の原案を作成し、各メンバーに今回の会の事前送付することとした。

第2回では、春秋会で作成した各発送物を予め出ている意見を基に、時間の許す限り表題、文章について検討した。

③弁理士会への要望書

西日本弁理士クラブ及び弁理士連合クラブの連名で、日本弁理士会及び日本弁理士政治連名宛に要望書を提出した。

3月24日に弁理士連合クラブより依頼があり、当初は4月初旬に提出の予定であったため、政策委員会が立ち上げられてなく、各会派の幹事長にお願いし、各会派の政策担当で検討し、それらの意見を取りまとめて弁理士連合クラブに幹事長名及び政策委員長名で回答した。

最終的には、日本弁理士会会長筒井大和先生及び日本弁理士政治連名会長古谷史旺先生宛で「特許出願件数激減への対応策についてのお願い」として要望書を提出した。

以上

選挙対策委員会 (協議委員会) 報告

委員長 佐藤辰彦

1. 開催回数

協議委員会 (拡大を含む)	13回
選挙対策委員会 (拡大を含む)	2回

2. 委員会の構成

委員長 佐藤辰彦 (春秋)

(但し、第1～6回の協議委員長 小池寛治(PA))

副委員長 清水善廣 (春秋)

同 長濱範明 (春秋)

同 神林恵美子 (PA)

同 真田有 (南甲)

(但し、第1～6回の協議副委員長 金本哲男(南甲))

同 八木秀人 (無名)

同 高橋英樹 (稲門)

委員 伊藤高英 久門保子 (春秋)

渡邊敬介 市東篤 (PA)

中野圭二 (PA)

須藤浩 津田理 (南甲)

河野生吾 (南甲)

(但し、第1～6回の協議委員

伊丹勝 石橋良規 (南甲))

香原修也 村上晃一 (無名)

細田浩一 (稲門)

3. 審議結果

①会長候補者として、下記の会員の推薦を決定した。

9962 奥山 尚一 (春秋)

②副会長候補者として、下記の会員の推薦を決定した。

9137 吉井 剛 (南甲)

9150 井出 正威 (PA)

9838 杉村 純子 (稲門)

9990 西出 眞吾 (春秋)

③監事候補者として、下記の会員の推薦を決定した。

7120 野本 陽一 (南甲)
8008 牛木 護 (稲門)
9001 茂泉 修司 (春秋)

④関東選挙区常議員候補者として、下記の会員の推薦を決定した。

8266 福田 賢三 (PA)
8375 杉本 ゆみ子 (春秋)
8505 矢崎 和彦 (無名)
9680 岡崎 信太郎 (稲門)
10377 佐々木 定雄 (PA)
10723 米山 尚志 (無名)
10883 早川 裕司 (春秋)
10933 上杉 浩 (春秋)
12095 金田 周二 (南甲)
12295 長谷部善太郎 (南甲)
12381 板垣 忠文 (PA)
12874 海田 浩明 (南甲)
13302 川崎 典子 (春秋)
13747 金井 建 (PA)

4. 選挙の結果

当選人確定 平成22年11月5日

- ① 会長選挙 投票当選
- ② 副会長選挙 無投票当選
- ③ 監事選挙 無投票当選
- ④ 常議員選挙 無投票当選

5. 当選祝賀会

平成22年12月15日

東海大学校友会館 東海・三保・霞の間

6. 補足説明

＜第1～6回の協議委員会＞

本年度は、日弁より会長を出すべく、日弁各会派に会長立候補予定者の有無を確認したところ、二会派(以下、「当事者会派」という)から「用意がある」旨の回答を得た。そこで、①推薦する会長候補予定者を一本化すること、②会長候補予定者選出過程の

客観性と透明性を担保すること、③少数意見を切り捨てないようにすること、④推薦結果に対してしこりが残らないようにすること、を基本方針として決定し、次いで会長候補予定者を一本化する手順を決定した。

その後、その手順に沿って、拡大協議委員会にて当事者会派による推薦理由説明と会長候補予定者本人による政策説明が行われ、さらに協議を進めたところ、一方の会長候補予定者において立候補辞退があり、最終的に奥山尚一会員を日弁からの統一会長候補者として推薦することに決した。

＜第7～13回の協議委員会、

第1～2回の選挙対策委員会＞

(副会長選挙)

副会長選挙については、立候補届の提出当日に欠員が出た場合の対策と定員を超えた場合の対策を想定しつつ、日弁から4名の副会長候補者を推薦し、最終的に推薦者全員が無投票にて当選を果たした。

(監事選挙)

監事選挙については、立候補届の提出当日に定員を超えた場合の対策を想定しつつ、日弁から3名の監事候補者を推薦し、最終的に推薦者全員が無投票にて当選を果たした。

(常議員選挙)

関東選挙区常議員選挙については、立候補届の提出当日に定員を超えた場合の対策を想定しつつ、日弁から14名の関東選挙区常議員候補者を推薦したところ、立候補届の提出当日には定員を1名超過していたが、その後他会派から1名の立候補届の撤回があり、最終的に推薦者全員が無投票にて当選を果たした。

また、東海選挙区常議員候補者1名(11070 岩倉民芳会員(春秋))、北海道選挙区常議員候補者1名(11076 佐川慎悟会員(春秋))についても日弁として推薦し、最終的に推薦者全員が無投票にて当選を果たした。

(会長選挙)

会長選挙については、他会派ならびに無会派から複数の候補者が立候補してくる見込みであったこともあり、日弁では、日弁政策で会長選挙に向けたプ

プロジェクトチームを立ち上げて日弁としての2011政策提言をまとめ、さらに各種印刷物やホームページの準備をすすめて選挙戦に臨んだ。

実際、ふたを開けてみると、日弁推薦の奥山尚一候補以外に、やはり弁理士同友会から古谷史旺候補（西日本弁理士クラブが共同推薦）、無会派から丸島儀一候補および森哲也候補が立候補し、定員を3名超過した状態で選挙戦に突入した。近年にない4名の立候補者での激しい選挙戦となり、予断を許さない状況の中で、日弁各会派の運動の把握と活性化に努め、各種媒体を通じて積極的な選挙活動を行った。さらに、他会派からの協力を得るべく活動した結果、選挙運動期間中に弁理士クラブからの共同推薦を得ることができた。

選挙戦は最後まで予断を許さない状況であったが、投票の結果、

投票総数	5 5 1 5 票
奥山尚一候補	2 1 4 0 票
古谷史旺候補	1 7 9 5 票
丸島儀一候補	1 4 0 0 票
森哲也候補	1 4 1 票
無効票	4 票
白票	3 5 票

となり、日弁の推薦した奥山尚一候補の当選が決まった。

会長選挙は、無会派層の増加や企業内弁理士の増加などもあって非常に予測を立て難い状況であったが、日弁各会派の一致団結した強力な選挙活動と、弁理士クラブの強力なご支援により所期の目的を果たすことができた。

本年度の選挙において、当選に向けて多大なご努力を頂いた日弁幹事長、日弁政策委員長をはじめ各位に対し改めて御礼申し上げる次第である。



研修委員会報告

委員長 中野圭二

平成22年度研修委員会につきまして、以下の通りご報告致します。

1. 開催回数

研修委員会	1回
研修会	8回

2. 委員会の構成

委員長	中野 圭二 (P A)
副委員長	金井 建 (P A)
委員	伊藤 公一 (春秋)
	栗原 弘 (春秋)
	市原 政喜 (P A)
	渡辺 伸一 (P A)
	飯村 重樹 (南甲)
	小川 雅也 (南甲)
	高田 伸一 (無名)
	竹山 尚治 (無名)
	岩田 啓 (稲門)

3. 研修内容

(1) 特定侵害訴訟代理業務試験対策研修

特定侵害訴訟代理業務試験対策研修として、以下の研修会を行いました。

① 過去問解析講座

日 程：2010年7月6日、7月13日、7月20日、
7月27日、8月3日

会 場：弁理士会館3階、

TKP虎ノ門ビジネスセンター

講 師：弁護士・弁理士 山口 健司 先生
(青和特許法律事務所)

内 容：第1回 ①特定侵害訴訟代理業務試験
のポイント(知財侵害訴訟
の要件事実について)

②平成20年度第一問解説

- 第2回 平成18年度第一問、第二問解説
- 第3回 平成16年度第一問、第二問解説
- 第4回 平成21年度第一問、第二問解説
- 第5回 ①平成20年度第二問解説
②過去問の傾向と試験対策

受講者数：72名（通学：57名、通信15名）

② 模擬試験

- 日 程：2010年9月14日、9月28日、10月5日
- 会 場：家の光会館コンベンションホール
- 講 師：弁護士 坂田 洋一 先生
(小林・弓削田法律事務所)
- 内 容：第1回 特許法関連模擬試験1問
第2回 商標・不正競争防止法関連模
擬試験1問
第3回 小問、第1・2回の模擬試験
結果講評 等

受講者数：71名

以上



会報委員会報告

委員長 大 澤 豊

平成22年度会報委員会につきまして、次の通りご報告致します。

1. 委員会の構成

委員長	大澤 豊 (春秋)
委員	荒木 邦夫 (春秋)
	高城 貞晶 (春秋)
	大浦 博司 (春秋)
	野田 薫央 (PA)
	青島 恵美 (PA)
	藤沢昭太郎 (南甲)
	金田 周二 (南甲)
	片岡憲一郎 (無名)
	小松 秀彦 (無名)
	倉持 誠 (稲門)
	高橋 政治 (稲門)
担当副幹事長	岩永 和久 (春秋)

2. 活動内容

(1) 会報「日弁」の発行

発行部数	： 2 5 4 5 部
内訳 PA	： 8 1 0 部
春秋	： 8 1 5 部
南甲	： 4 3 0 部
無名	： 2 9 0 部
稲門	： 2 0 0 部

発送：11月2日に各会派へ発送

(2) ホームページ委員会への情報提供

1月25日にHP委員会委員長に送付

3. 会合、その他

(1) 会合

8月2日に開催。

その後は、電子メールを用いて作業を進めた。

(2) その他

誌面構成は前年度と同様とした。前年度から印刷を依頼している東洋法規出版株式会社では、原稿の進捗管理も担当してもらえるため、従来の、委員が進捗管理を担当する方式に比べ、会誌発行に関する委員の負担はかなり低く抑えられていると考える。

以 上



ホームページ委員会 報告

委員長 山田 勉

平成22年度 総会承認事項

平成22年度副幹事長 萩原 康司

平成22年度のホームページ委員会の構成及び審議内容等について、次の通りご報告致します。

(1) 委員の構成

委員長 山田 勉（無名）
委員 山崎 貴明（春秋）
西岡 邦昭（PA）
村田 正樹（PA）
河野 生吾（南甲）
関 京悟（稲門）

(2) 会合及び審議内容

第1回

日時：平成22年9月22日（水）

18:30－20:00

場所：弁理士会館会議室

議事：選挙対策

(3) 活動内容

・日弁HPについて

日本弁理士クラブの幹事長挨拶の掲載

日本弁理士クラブで主催する研究会等の案内掲載

各会派で主催する研修会等の案内掲載

その他メンテナンス（随時）

以上

第1回総会

日時：平成22年6月29日（火）午後6時30分

会場：弁理士会館2階A、B会議室

- (1) 平成22年度事業計画の承認を求める件について、賛成多数により承認された。
- (2) 平成21年度決算報告の承認を求める件について、賛成多数により承認された。
- (3) 平成22年度予算の承認を求める件について、賛成多数により承認された。
- (4) 平成22年度日弁人事および日本弁理士会役員推薦の件については、幹事会一任とすることで、賛成多数により承認された。

第2回総会

日時：平成23年1月14日（金）午後5時15分

会場：東商スカイルーム ルビールーム

- (1) 平成23年度日本弁理士クラブ幹事長選任の件について、権沢聡会員を選任することにつき、賛成多数により承認された。
- (2) 平成23年度日本弁理士クラブ政策委員長選任の件について、水野勝文会員を選任することにつき、賛成多数により承認された。
- (3) 平成23年度日本弁理士クラブ副幹事長、幹事及び会計監事選任の件について、平成22年度幹事会及び平成23年度幹事長に一任することにつき、賛成多数により承認された。
- (4) なお、報告事項として、平成22年度会務中間報告、平成22年度会計中間報告及び会計監査中間報告、平成22年度協議・選挙対策委員会会計中間報告、並びに、平成22年度研修委員会会計中間報告が行われた。

以上

平成22年度会合行事記録

平成22年度副幹事長 萩原康司

月	総会・例会・行事	幹事会	相談役会	委員会	その他
平成22年 2月		2/19 第1回			
3月		3/5 第2回 3/29 第3回		3/15 第1回協議	3/19 東海協議会現役員慰労新役員激励会 3/19 西日本弁理士クラブ現役員慰労新役員激励会
4月				4/8 第2回協議 4/19 第3回協議 4/21 第4回協議	
5月				5/14 第5回協議	
6月	6/19-20 旅行会 (湯河原温泉「山翠楼」) 6/29 第1回定時総会	6/2 第4回 6/19 第5回	6/7 第1回	6/2 第6回協議 6/30 第7回協議	
7月		7/28 第6回		7/14 第8回協議 7/27 第1回政策 7/29 第9回協議	7/10-11 西日本弁理士クラブ旅行会
8月				8/2 会報 8/10 第10回協議 8/23 第2回政策 8/31 第3回政策 8/31 第11回協議	
9月		9/15 第7回	9/15 第2回	9/13 第12回協議 9/22 ホームページ 9/27 第13回協議 9/28 第1回選対	
10月				10/12 第2回選対	
11月					
12月	12/13 ボーリング大会 12/15 役員選挙当選 祝賀会	12/1 第8回			
平成23年 1月	1/14 第2回定時総会 1/14 新年会 1/29 テニス大会	1/14 第9回			



平成22年度会計報告

平成22年度会計担当副幹事長
吉田正義

平成23年度第1回日弁総会において平成22年度会計報告が承認されましたので、以下にご報告申し上げます。

下記の収入・支出の差し引きは、円となり、次年度活動準備金円と合算すると、平成22年度への繰越金は、円となりました。平成22年度は、例年に比較して、繰越金を多く頂いてスタートを切りました。日本弁理士会会長選に対応すべく、選挙対策費、協議委員会費、幹事長渉外費等で臨機応変に対応させて頂き、結果として、例年とほぼ同等の次年度繰越金を残すことが出来ました。関係各位のご理解、ご協力に感謝いたします。

(単位：円)

収入の部

前年度会計からの繰越金
(繰越金+次年度活動準備金)
()
各クラブ分担金
研修委員会の残金
利息
合 計

支出の部

- 例会・総会
- 幹事会
- 会報委員会
- 協議委員会
- 政策委員会
- 規約委員会
- HP委員会
- 研修委員会
- 広報委員会(仮称)
- 連絡協議会
- 相談役会・常任相談役会

旅行会
旅行会ゴルフ大会補助
新年会
ボウリング大会補助
テニス大会補助
庶務
慶弔費
渉外・交通
幹事長渉外費
選挙対策費(協議に含める)
予備費
次年度活動準備費
合 計

第33回 ボウリング大会報告

実行委員 中 村 仁

第33回日弁ボウリング大会は44名（女性2名）の参加者により平成22年12月13日（月）に田町ハイレーンにおいて開催されました。

上位6名のトータルで争う各派対抗の団体戦では、P A会が2737ピンで、前年優勝の春秋会に187ピン差をつけ、優勝し雪辱を果たしました。

2位争い（2位P A会、3位無名会）は、3ピン差の大接戦でした。

3ゲームのトータルピンで争う個人戦では、岩田啓会員（稲門）が524ピンの高スコアで優勝しました。

ハイゲーム賞は、218ピンの竹山尚治会員（無名）が獲得しました。

レディース戦は、玉利房枝が優勝しました。何連覇でしょう（？）

各賞の結果の詳細は以下の通りです。

○団体戦

優勝	P A会	2737ピン
2位	春秋会	2550ピン
3位	無名会	2547ピン
4位	南甲弁理士クラブ	2518ピン
5位	稲門弁理士クラブ	2397ピン

○個人戦（3ゲーム投球完了者：44名）

優勝	岩田 啓（稲門）	524ピン
2位	鈴木 利之（P A）	505ピン
3位	竹山 尚治（無名）	493ピン
4位	金井 建（P A）	489ピン
5位	佐藤 正美（P A）	472ピン
10位	河野 生吾（南甲）	445ピン
15位	中尾 俊輔（春秋）	416ピン
20位	青木 博通（南甲）	412ピン
25位	磯田 志郎（春秋）	397ピン
30位	浅村 皓（稲門）	379ピン

33位（第33回大会）

長濱 範明（春秋） 375ピン

35位 高橋 政治（稲門） 341ピン

B B 栄元 敏公（P A） 311ピン

○レディース戦（参加者：3名）

優勝 玉利 房枝（春秋） 373ピン

○ハイゲーム

1位 竹山 尚治（無名） 218ピン

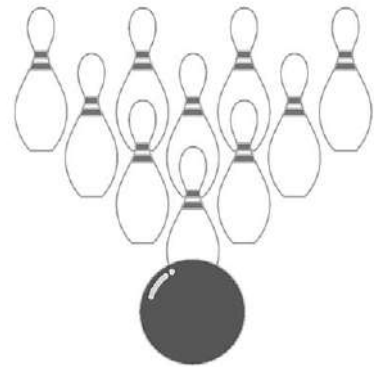
2位 岩田 啓（稲門） 199ピン

3位 村上 晃一（無名） 190ピン

○大波、小波賞

大波賞 竹山 尚治（無名） 96ピン

小波賞 島田 俊昭（P A） 6ピン



平成22年度 日弁テニス大会報告

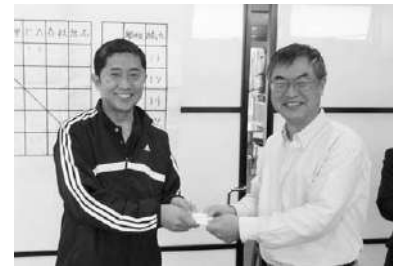
平成22年度テニス大会担当副幹事長
須田 元也

平成22年度、毎年恒例の日弁テニス大会が、平成23年1月29日（土）に品川プリンスホテル高輪テニスセンターにて開催されました。

22年度は、稲門弁理士クラブの岩田啓先生に幹事を担当していただきましたが、各会派への開催通知の手配をはじめ、賞品の購入、当日のマネージメントまで、何から何までお世話になりました。プレーに影響はなかったでしょうか…。この場をお借りして御礼申し上げます。

また、本大会は、各会派のテニス幹事の方を中心に運営していただいております（テニスに疎い小生は担当幹事となつてはじめて知りました）、22年度も、P A会平山洲光先生、春秋会伏見俊介先生、南甲弁理士クラブ瀧野文雄先生、無名会土井健二先生のご協力があったが無事挙行することができた次第です。心より御礼申し上げます。

なお、本大会には22年度日弁幹事長の岡部譲先生がプレイヤーとして参加されました。1月29日の開催ですから、正に幹事長として最後のお勤めだったことでしょう。果たして自分で自分を表彰すること



P A会



春秋会



南甲弁理士クラブ



無名会



稲門弁理士クラブ

ができたのでしょうか。

大会要領は、例年同様、各会派1チームの総当たり戦で行われ、勝敗表はご覧のとおりです。本大会は稲門弁理士クラブさんの優勝でした。おめでとうございます！

<参加者（敬称略）>

P A会：

川島利和 平山洲光 後藤政喜 岡部譲
岡部典子 堀籠佳典 田中良太 井上悠輝

春秋会：

沼形義彰 茂泉修司 出野知 伏見俊介
伊藤健太郎

南甲弁理士クラブ：

古澤俊明 早崎修 瀧野文雄 藤沢昭太郎
浅村敬一 西野勇輝

無名会：

土井健二 小川英宣 朴暎哲 竹山尚治
中里卓夫

稲門弁理士クラブ：

木下謙吾 窪田稚之 高橋政治 岩田啓

(勝敗表)

	稲門	南甲	PA	春秋	無名	勝敗		順位
						勝ち点	勝点	
稲門	-	6 - 1 4 - 2 10 - 3 8	4 - 5 4 - 3 8 - 8 4	3 - 3 4 - 4 7 - 7 4	4 - 6 6 - 1 10 - 7 5	2勝2分0敗	21	1
南甲	1 - 6 2 - 4 3 - 10 0	-	3 - 5 6 - 0 9 - 5 5	6 - 1 1 - 6 7 - 7 4	6 - 2 6 - 2 12 - 4 8	2勝1敗1分	17	2
PA	5 - 4 3 - 4 8 - 8 4	5 - 3 0 - 6 5 - 9 3	-	2 - 4 6 - 2 8 - 6 5	4 - 4 2 - 6 6 - 10 2	1勝2敗1分	14	4
春秋	3 - 3 4 - 4 7 - 7 4	1 - 6 6 - 1 7 - 7 2	4 - 2 2 - 6 6 - 8 3	-	5 - 5 6 - 3 11 - 8 6	1勝1敗2分	17	2
無名	6 - 4 1 - 6 7 - 10 3	2 - 6 2 - 6 4 - 12 0	4 - 4 6 - 2 10 - 6 6	5 - 5 3 - 6 8 - 11 2	-	1勝3敗0分	11	5